学校番号	３２４

令和３年度　公民科

教科	公　民	科目	現代社会	単位数	2	年次	1
使用教科書	「高等学校　改訂版　新現代社会」　（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・私たちは何者か、生きるとは何か、を考える。
・人間としての生き方を先人に学ぶ。
・何をなすべきか、いかに生きるべきかという問題を自らに提起し、解決のため試行錯誤する。

2　学習の到達目標

・古典や諸資料に親しみ、読み解き、思考力と活用技能を培う。
・現代の諸課題を多角的、多面的に考察することができる。
・他者とともに生きる主体としての自己確立を促し、公民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自らが生きる社会にはどのような問題・課題が存在するのかを知り、その社会の中で問題を解決し、他者とともに生きる主体としての自己確立をめざす。	現代社会の諸問題を主体的に捉え、一人ひとりが自分の意見を持つことをめざす。また、自分の意見と他者の意見を比較し、より公正な判断を下すことができる能力を養う。	青年期や、現代社会における倫理上の諸課題を新聞等のマスメディアやインターネットなどを通じて複数の情報源から収集し、比較、考察することにより資料活用技術を養う。	現代社会に存在する諸問題や課題について、歴史や現在行われている活動などと結び付けながら理解し、知識を身につけることをめざす。
評価方法	ワークシート レポート 振り返りシート 行動の観察 （グループワークでの取り組み方）	定期考査 ワークシート レポート 行動の観察 （発表時の聞く態度・パフォーマンス）	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	青年期と自己の形成	・青年期とは ・青年期と文化の関わり ・社会とのかかわり	○	○ ○	○ ○	○	a:自己の体験などを通して意欲的に考察し、自己形成への関心を高めようとしている。 b:青年期の意義や課題を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:青年期の現状と課題について、マスメディアなどから諸資料を収集し、有用な情報を選択して図表などにまとめたりしている。 d:青年期の諸課題についての基本文献や資料を読み、その知識を身に付けている。	a:行動の観察 b・c:ワークシート d:定期考査
	個人の尊重と法の支配	・近代国家の思想 ・法の支配 ・基本的人権 ・世界の政治体制	○	○	○	○	a: 民主政治の原理の意義について意欲的に考察し、社会を生きる主体としての自己確立を目指している。 b: 基本的人権の保障の充実と発展について適切に表現している。 c: 民主政治の本質を図や諸資料から読み取り、説明できる。 d: 近代国家の形成について、基本文献や資料を読み、その知識を身に付けている。	a:行動の観察 b・c:ワークシート d:定期考査
	現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と安全保障 ・法の下の平等 ・自由権・社会権 ・日本の政治制度 ・日本の司法制度 ・日本の選挙制度	○ ○	○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 自らの権利の保持について考え、政治参加の重要性について自覚を深める。 b: 現在の社会の諸問題について自分の意見を持ち、主体者として判断を下そうとする。 c: 憲法の条文などの諸資料から、現在の日本の民主政治の原則を読み解くことができる。 d:歴史的背景を踏まえ、現在の日本の政治制度と基板になっている考え方についての知識を身に付けている。	a・b:行動の観察 b・c:ワークシート d:定期考査

2学期	国際政治の動向と日本の役割	・国家とは何か ・国際連合の役割と課題 ・第二次世界大戦後の国際社会 ・冷戦後の国際社会 ・核問題 ・地域紛争と人種・民族問題 ・国境と領土問題	○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:現代社会における核の問題を知り、歴史的背景を踏まえ、問題解決に向けて主体的に考える。 b:現代社会に存在する核問題や人種差別、領土問題など様々な問題について自分の意見をまとめ、他者の意見と比較している。 c:組織図や年表などの資料から、国際連合の働きや現在の国際社会の形成を読み取ることができる。 d:歴史的な背景と現在の問題を結び付け、国家の形成についての知識を身に付けている。	a:振り返りシート、行動の観察 b:ワークシート c・d:定期考査
	現代の経済社会と私たちの生活	・経済とは何か ・資本主義経済と社会主義経済 ・株式会社の仕組 ・市場の仕組 ・国民所得 ・日本の財政の仕組と課題 ・金融機関の働き	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:株式会社の仕組みなど、現在の経済社会について意欲的に考察し、経済社会の中で生きていく主体としての自己確立を目指している。 b:資本主義経済を選択している日本と、その財政について考え、自分の意見を持つことができる。 c:図や資料から、経済の仕組みを読み取ることができる。 d:日本経済の諸問題について、教科書や資料を読み、知識を身に付けている。	a:グループワークの取り組み方 b:ワークシート、行動の観察 c・d:定期考査

3学期	私たちの生きる社会	・地球温暖化などの環境問題と持続可能な社会 ・エネルギー問題 ・循環型社会 ・生命倫理 ・高度情報社会の発展と課題	○	○	○	○ ○	a:クローン技術など生命倫理に関わる問題を主体的に考察しようとしている。 b:現在の環境問題について、自分の意見を持ち、他者と意見を比較し、より公正な判断を下そうとする。 c:エネルギー問題について、新聞やインターネットなど複数の情報源から情報を収集し、比較、考察を行おうとする。 d:高度情報社会の形成と発展について、歴史的な背景を踏まえ、知識を身に付けている。	a:行動の観察 b・c:ワークシート d:定期考査
	ともに生きる社会をめざして	・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○	○	○	○	a:現代の諸課題を、自らの生活に結び付け、現実に根ざした姿勢に基づいて意欲的に追究しようとしている。 b:現代の諸課題を、自らの生活に結び付け、現実に根ざした姿勢に基づいて考察し、適切に表現している。 c:現代の諸課題を、自らの生活に結び付け、現実に根ざした姿勢に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。	a・b・c:レポート d:ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。